



未曾有の経済危機のなか久邇年度がスタートしますが、ロータリー会員数の減少がどれほどになるのか本稿執筆時点では見当もつきません。既報の通りRI、R財団の投資損失はかつてない規模のため徹底した経費削減、緊縮予算の策定を余儀なくされており、既に各種補助金の減額等も決定されています。

経済問題は各クラブにとっても避けては通れない本年度の最重要課題のひとつではないかと思いますが、会員数の少ないクラブにとっては一層深刻なテーマでありましょう。

私どもの多摩東グループでは、9クラブ中5クラブが会員数30名前後でクラブ財政・運営の面で大変苦労されていることからグループ協議会等を通じて各クラブのお考えを伺った結果、クラブに過大な負担をかけないグループ行事並びに緊縮予算を決定しました。

具体的には、I.M.や年初の表敬訪問の中止、恒例の野球トーナメントの1日限定親睦大会への変更、各種登録料の値下げと会員数による登録料の不公平是正・軽減などです。また、インターネットメールを多用することで意思の疎通をはかって無駄な会合を減らし、必要な会合では生きたコミュニケーションと意義ある親睦に力点を置いてまいります。

経済危機の下の臨時的措置とはいえ、これまでの慣例を変更することに対するご批判の声が無かった訳ではありませんが、各種負担の軽減によって各クラブが維持・増強、あるいは事業等の遂行に専念してくださればとの一念で決めさせていただきました。

ジョン・ケニー RI会長が仰っているように「ロータリーでは、すべてがクラブに始まり、クラブで終わる」という言葉の真の意味を踏まえ、各クラブの「自主性」を重んじてまいりたいと考えております。その「自主性」に、「RIや地区の強調事項、方針等を適切に理解した上での」という注釈が付くことは言うまでもありません。

